



12/1(月)から12/5(金)まで、佐川野小学校では人権教育強調週間として、人権について考える期間を設けました。今年度もたくさんの人権に関する取組を行いました。

今から77年前の12月10日に「世界人権宣言」が出されました。これは、世界中の人が、だれもが、人としての当たり前の生活が送れるように、お互いを大切にしようと決めた日です。日本でも、毎年12月4日から10日までの1週間を人権週間として、人権の大切さについて考えるイベントが行われています。佐川野小でも同じく、この時期にいろいろな活動を行いました。人権とは、「人が人らしく幸せに生きる権利」のことです。小学生用にやさしい言葉で言うと「自分を大切にするように、お友達や周りの人を大切にする」「みんなが楽しく、にこにこ笑顔で過ごせるようにする」ということです。一人一人の違いを認め合い、お友達の良いところを見つけ合って、自分も友達も大切にしてほしいと願っています。



ファミリー班共遊

学年間の枠をこえて、仲良く遊びました。上級生はいつも下の学年に優しくでき、小さい子たちは、そんな上級生を頼もしく思っています。



人権カレンダー作品入賞

夏休みに募集した作品から、町最優秀賞に輝き、次年度カレンダーに選出された作品です。

【標語の部】

「ありがとう」えがおにさせる ことばのリレー
2年 館野あやみさん

【ポスターの部】

6年 館野 陽菜さん

標語は各クラスで、皆さんの力作を掲示しています。

キラリ☆カードの実践

友達のよいところを見つけて伝え合う活動を各クラスで行いました。人権を大切にするには、まずは身近な人の「よいところ」に目を向けてお互い思いやる気持ちを育てて行きたいです。



人権集会「福祉体験」12月1日



今年度は野木町社会福祉協議会・ボランティアさんをお迎えし、福祉体験をしました。

(1・2年生…手話体験 3・4年生…点字体験 5・6年生…ハンディキャップ体験)
子どもたちの感想を紹介します。

<1・2年手話体験>

・わたしは、「ありがとう」の手わをおぼえました。いろいろな手わのうたをおぼえて、うたってみたいです。(1年 しらが のあ)
・手話を使って伝えることが、とても大変なことがわかりました。もっと手話を覚えて、困っている人がいたら助けてあげたいです。

(2年 館野 夏歩)



<3・4年点字体験>

・点字は、はりのようなものでさして文字を打ちます。難しかったです。点字は、目が見えない人には、とても重要ということが分かりました。 (3年 片野 実咲)

・点字で、自分の名前の名刺を作りました。もし、お店に目の不自由な人がいて困っていたら、助けてあげたいです。

(4年 上竹 瑞絆)

<5・6年ハンディキャップ体験>

・車いすは、一番介助者が重要だと分かりました。段差や曲がるときに不安にならないように声をかけてあげるのが大切だと学びました。 (5年 知久 昇陽)
・車いすの操作は、利用者の気持ちや感情をつかみ取って動かさないといけないことが分かりました。車いすで困っている人がいたら、すぐに助けてあげようと思いました。

(6年 井上 琉碧)



認知症サポーター講座 11月5日



<4・5年 認知症サポーター>

・認知症サポーターの仕事が、どういう仕事か分かりました。今回、認知症サポーターの資格をもらったので、これから、困っている人のサポートを進んでみたいです。

(4年 館野 悠真)

・年齢による認知症と性格による認知症があることを知りました。これからは、認知症の人がいたら、認知症サポーターの札のうらにある七つのルールを守って、認知症の方や高齢者の方に接していくたいです。 (5年 館野 颯太)